

基本構想等地域意見交換会(No. 4)で出された主な質問・意見とその回答

基本構想全般について

| 質 問 ・ 意 見 | 回 答 |
|---|--|
| 10年後の姿にプラス面ばかり書かれているが、マイナス面の諸課題についても載せるべきである。 | マイナス面は財政や犯罪などいろいろ考えられるので、マイナス面を克服するための課題を含め考えている。 |
| この基本構想が、いつからスタートしていつまでやるということが書かれていない。美辞麗句の集まりで言葉遊びの感がある。 | 基本構想は議会の議決が必要であり、スタートは議決の日となる。基本構想の実現をめざす10か年計画は、来年度からスタートし、3年ぐらい経ったらローリングしていきたい。 |
| 今の基本構想のどこが悪いからこう変えたいと、具体的に書いて欲しい。(意見) | |
| 区長の任期は4年なのに、その任期を超えた基本構想を定めるといのはいかがか。そのようは例はあるのか。 | 基本構想は地方自治法で定めることになっている。他の自治体では大体20～30年後を想定して定めているところが多い。区長は、長期的な視点に立って行政を運営しなければならない。 |
| 区長が変わった場合、前任者が定めた基本構想に、後任者はしぼられるのか。 | 基本構想は区長が一人で決めるのではなく、区議会で議決してもらうものなので、区長の考えだけでは覆せない。 |
| 基本構想策定までのスケジュールを変更する考えはないのか。 | 今示しているスケジュールを進めたいと考えている。 |
| この計画は、いつからいつまでのものか。できるものはどんどん進めて欲しい。 | 基本構想は区議会の議決をいただいた後から効力が発生する。10か年計画は平成17年度を初年度とするものである。 |
| ワークショップの報告書の文章表現の方が優れている。内容としても画期的なことがいくつも提起されていたのに、この第1稿には表現されていない。 | ワークショップの議論や報告書を踏まえて作成している。具体的な取り組みについては、10か年計画の中でお示しすることになるので、そこに反映されることも多いと考えている。 |
| 区民ワークショップで議論してきたエキスがなくなってしまったような気がする。報告書の内容をもっと細かくし記述したほうが良い。 | 確かに細かい項目は入っていないが、その思いは尊重したつもりである。 |
| 基本構想の内容は、行政から独自に提案されたものではなく、区民のワークショップや審議会での議論をまとめたものになっている。この考えを広めようということで意見交換を行っているものではないか。 | 区民ワークショップや審議会での膨大な議論が、これだけの少ない分量にまとめられており気になっているが、大事なところ・エッセンスをまとめたものである。議論の中身は、これからの政策に生かしていきたい。 |
| No.3に比べて基本構想が簡素でわかりやすくなった。財政運営についての考え方も示されたのがよい。(意見) | |
| 基本構想は前よりよくなってきたが、文章は官僚的でわかりにくい。もっと短くてよい。どういう層を対象にしているのか。 | いろいろな人を想定して表現を考えたものだが、さらに工夫したい。基本的には中学生にわかるような文章表現に努めたい。 |
| 全体を通して、アカデミーとサブカルチャーについての記述がない。示すべきである。 | サブカルチャーをはじめとして、中野にも特徴的な文化が生まれつつあると思っている。基本構想の本文に具体的に記述するのが難しいが、「中野らしい文化」とは何かという観点からもよく考えてみたい。 |
| 21世紀にふさわしいということは何でも括ってしまうのはいかがなものか。何も具体的に書いていないので、間違っていると感じるわけでもないが、何がどうなるのか分かりにくい。区民がどのような影響を受けるのか分からない。 | これまで、日本全体が経験しなかった局面になってきている。民間や区民、行政が重層的に力をあわせて、豊かな地域づくりをしていかなければならない。10か年計画では、具体的に内容を書き込んでいくので区民への影響が分かると思う。今後、皆さんに示していきたい。 |

| | |
|--|---|
| 書いてあることはあたりまえのことばかり。まずはじめに、中野区に住むためのものだと書いて欲しい。(意見) | |
| 言葉の問題だが、「まちづくり」というのを安易に使いすぎているように思える。都市という言葉をもっと使っていったらいいのではないか。(意見) | |
| 最も基礎となる計画である基本構想にしては、具体性に欠ける。 | 抽象的でわかりにくいというご意見もいただいている。わかりやすい表現に努めたい。また、具体的な事業等については、10か年計画の中でお示ししたい。 |
| 経過を見ると、策定に2年半もかかっている。遅すぎるのではないか。 | 区民の方と一緒に策定している。区民参加の下、十分な議論を尽くした上で決めていきたいと考え、ワークショップ、審議会、意見交換会で討議している。ご理解いただきたい。 |
| この基本構想第1稿も区民ワークショップや審議会の議論を経ているものである。色々な意見の方がいると思うが、ただ否定するのではなく、どうしたらよくなるかという視点で議論して欲しい(意見)。 | |
| 区に要求するだけでなく、区民がどう思い、何ができるかが大事である視点で基本構想を考えるべきだ(意見)。 | |
| 「一人ひとり」「地域」という言葉が多い。行政が何をやるのかが見えない。 | ワークショップや審議会でも議論してきたが、区の役割とは何かを見直す必要があると考えている。個人や地域が担えないことについては、区が支援する。区は支援、誘導的な役割を中心とするべきではないか。 |
| 検討素材はNO.5も出すのか。 | 基本構想については、12月末に素案としてお示しする予定である。10か年計画については、検討素材NO.5とするかはともかく、一定の内容をお示しできればと考えている。 |
| 検討素材はNO.1からNO.4まで更新されてきたが、「契約」という表現がなくなったこと、「自己決定」「自己責任」が強調されなくなったこと以外はあまり変わっていない。 | ご意見を伺った上で検討し、修正してきている。また、10か年計画については、基本構想の策定後により検討を進めることになる。引き続きご意見いただきたい。 |
| 今の基本構想を、著しい社会変化があるため見直すとしているが、今後10年間で著しい変化は想定しないのか。 | 10か年の予測を立てて10か年計画を作るが、中間で見直しを行う予定である。 |
| 中野まつりのティーチインで、ある大学教授がどこでも通用する基本構想で何をしようするのか分からないと言っていた。書き込みが不足しているのではないか。 | 中野まつりのティーチインで大学教授から紹介された真鶴町の例でもまちづくり計画の中で具体的な取組みが書き込まれている。具体的な取組みについては、10か年計画の中で書き込んでいきたい。 |
| 持続可能なという言葉には違和感がある。 | 環境分野などで、資源、人的資源には限りがある。区民が将来にわたり安心して生活できるようにする意味である。わかりやすい説明をしていきたい。持続可能なという言葉は使いたい。 |
| 地域という言葉が多く出てくるが、地域の区画があるのか、地域センターのことか、区民活動センターのことなのか。学校も大切な単位であり、児童館も一校一館となっており地区委員会の活動も盛んである。児童館の数を見るとき地域と子育ての単位を整合性を持ったビジョンとしてほしい。 | 地域は固定の概念ではない、目的により分け分けるものである。地域センターや学校、福祉などが一つのコミュニティとして同じ単位であれば理想である。基本構想での地域は決まったエリアはなく、日常生活の中に係わりのある取組みによって地域エリアが分かれてくる。 |
| 質の高いサービスと基本構想で言っているが、施設の統廃合、委託化ではサービス低下ではないか。不在者投票もやりにくい。今までの基本構想がどうだったのかの検証もなく、新しい構想の検討はおかしいのではないか。 | 今回の基本構想の検討素材は、区民ワークショップや審議会でも議論していただいた結果である。現行の基本構想のどこをどうするのではなく、これからどうしていくのかなど全体を含めて議論している。 |

前文・基本理念について

| 質 問 ・ 意 見 | 回 答 |
|--|--|
| 「主権者の信託を受けて行政を進める区」という意味が分からない。 | 選挙によって区民から信託を受けて区長が行政を進めているという意味である。 |
| 選挙で信託を受けるのであれば、選挙のたびに改定しなければならなくなるのではないか。 | 基本構想は区長だけで決めるものではなく、同じく区民から信託を受けている区議会で議決されるものであるため、そういったことにはならない。 |
| 全ての区民が公共・公益活動に参加できるわけではないのに「自己決定」「自己責任」と記述するのは、行き過ぎだ。 | 区民がやることが強調され、自治体としての公的責任が見えにくいとのご指摘を受けている。素案作成にあたっては、配慮したい。 |
| 基本理念に区民憲章を入れるのはおかしい。 | 区としては、基本となる理念を区民憲章としてあらわした。 |
| 区民憲章の自己決定・自己責任の表現がなくなったのはよかった。(意見) | |
| 区民憲章の4つ目、5つ目の定めは、区民に自覚しろという感じを受ける。憲章文にふさわしくない。 | 区民憲章については、区が審議会へ提案した。審議会で議論いただき、5項目の区民憲章として答申を受けている。意見を伺いながら、内容及び表現を考えていきたい。 |
| 区民憲章の一つとして「すべての人々の自由と尊厳を守り、大切にします」と定めているが、良いと思う。(意見) | |
| 社会権、生活権に関する内容が示されていない。憲法で定められている「健康で文化的な最低限度の・・・」といった内容を記すべきだ。(意見) | |

中野のまちの将来像について

(持続可能な活力あるまちづくり)

| 質 問 ・ 意 見 | 回 答 |
|---|---|
| 中野駅周辺に整備されるさまざまな施設とは何か。 | 警察病院だけは決まっているが、その他については未定。 |
| 中野駅周辺をにぎわいの中心としてとあるが、警大跡地は野原とするか都市空間のオアシスとすべきではないか。 | 中野駅周辺は、中野の顔として再生すべき重要な地域であり、現在、まちづくり計画の検討を行っている。オープンスペースや公園なども確保し、にぎわいと環境の調和したまちとしていきたいと考えている。 |
| 駅周辺に高層ビルを望む人はどれだけいるのか。区長はハコモノ行政はやらないと公約していたが、公約違反ではないか。 | 駅周辺にふさわしい土地の高度利用も必要と考えている。 |
| 10年後に残せるものは、豊かな緑と防災に強いまちだと思う。警大跡地には防災公園をつくって欲しい。 | 警大跡地をはじめとした中野駅周辺まちづくりについては、3～4haの公園・オープンスペースを確保した上で、にぎわいのある場所とするとともに、広域避難場所としての機能を確保する。 |
| 警察大学校跡地に高層ビルを作り開発すると、緑が少ない区なのに避難場所の確保などできるのか。 | 区役所周辺は今でも、広域避難場所に指定されており、今後この機能を維持させたい。オープンスペースや公園を確保した緑豊かなまちにしたい。一方で、大学など教育機関やこれからの中野のまちの産業・雇用の場とうまくかみ合っていくものにしていきたい。都市計画制度や補助金の活用などにより実現をめざしたい。 |

| | |
|---|---|
| 先日、警大跡地の見学会に行ったら、子どもが虫をとっているのを見て心が洗われる気がした。こんなことができる場所はここしかない。ビルなどは建てないで欲しい。 | 跡地全てを公園にすることはできない。中野区は産業が沈滞しており、産業を振興させる土地利用が必要である。 |
| ワークショップに参加していたが、そこでも警大跡地には建物を一切建てるなという意見があった。しかし、企業が来なかったら税収も見込めない。(意見) | |
| 賑わいというなら、警大跡地を公園にすることで、他の地域からも人が集まってくるのではないか。(意見) | |
| 区の財政状況が悪い中で税収を増やさなければならないというのは理解できる。しかし、自然災害が多発する中で、警大跡地に企業を呼んでも、地球温暖化をはじめとする環境汚染が進むだけではないのか。 | 地球温暖化について区としてどのように取り組んでいくかは、きちんと考えていかなければならない。緑を増やすということもしっかりとやっていく。一方で財政問題も大切なことである。皆が負担しあえる世の中を作っていかなければならない。 |
| 警察大学校跡地の清掃工場の計画があり、それがなくなり防災広場となっていたはずなのに、ほんのわずかな防災公園となっているのはなぜか。 | 23区ではごみ量の減少により、あらたな清掃工場が不要となった。当時の計画では4ha程度の防災公園が検討されていたが、オープンスペースや公園で3~4haのまとまった空間を確保したい。 |
| 警察大学校跡地には13.7haという広大な土地がある。重視してほしい。中野の緑被率は23区中最下位、23区平均が20%台なのに中野は9.5%と少ない。大きな緑地公園としてほしい。(意見) | |
| 駅周辺に六本木ヒルズのようなビルを作って欲しい。そうしないと区の税収は増えないだろう。今のままでよいという人は、現実を知らないのではないか。(意見) | |
| 防災公園では、一時しのぎしかできない。土地の有効利用を考えて高さのある建物をつくることも一案だと思う。 | 広域避難場所のみならず、当面生活する場所の確保は不可欠である。学校が避難場所に指定されているが、学校再編に伴い、避難場所等について再検討する。 |
| 新潟の地震被害の報道を見ていると、学校再編により学校の数が減ることにより、避難場所が少なくなるのではないかと心配である。 | 避難所は、区の施設で50箇所指定している。乳幼児、障害者は個別に特別養護老人ホーム、保育園を指定している。学校の再編計画により、廃校となった学校は、そのままの施設で他の目的に転用する場合もあるし、他の区施設を避難場所として使える場合もある。いずれにしても水害や地震の教訓を踏まえて区の全体の中で再検討していきたい。 |
| 児童館や高齢者施設は避難所に指定されているが、施設が民営化や委託化された場合でも避難所として使えるのか。「やよいの園」はどうか。 | 各施設の民営化や再配置を考えているが、避難体制も考慮して示していきたい。「やよいの園」は区の財産であり、今後も避難場所としていく。 |
| 「安全で快適な都市基盤」とあるが、町会で一番困っているのは道路が狭いということ。建築のときにセットバックしてまたもどしてしまうこともある。 | 道が狭いということは承知している。狭あい道路の拡幅整備に取り組んでいるが、整備後にセットバックしたものを戻すというのは問題なので、きちんと指導していく。 |
| 道路拡幅についてはどのように考えているのか。 | 建築基準法42条2項に該当する道路は建築時に広げることになっている。都市計画道路については、都・区で取りまとめた事業計画の中で取り組んでいく。 |
| まちづくり全般としては足踏み状態が続いていると思う。狭あい道路をなくすことが本当にいいのか。拡幅しても建物を立ててしまうケースもある。よく考えてみて欲しい(意見)。 | |
| 今一番重要視されているのが避難所の問題だと思う。施設の再編の中で震災時の避難所に対応できるものという視点を入れていくべきだ。 | 中野区では震災を想定した計画を持っており、再編した後も必要な対応をできるようにしていきたい。 |

| | |
|---|--|
| まちづくりについて、これまでは住みやすいまちと いってきたが、これからはにぎわいだといっている。 中野ににぎわいのまちができるのか。 | 東京の人口分布の中心は中野区あたりにある。生産工場や研究 機関は都の西部に移りつつあり、都市構造の面から見ると中野 に魅力はあるのではないかと考える。 |
| 10年後の姿の中に情報関連ビジネスや人材サービス という言葉が出てくるが、理念を謳う基本構想に個別 の事業名は不適切なのではないか。 | 中野のまちにはどういう産業の姿がいいのかを見せるために、 具体的なものをあげていったほうがよいと思う。状態を具体的 に描くからどうしたいのかが見えてくるものだと思う。 |
| ごみを減らす等はあたりまえなので、改めて入れる必 要はないのではないか。二酸化炭素等は必要。バイオ マスエネルギーをどう入れるのかもあわせて検討して 欲しい。 | バイオマスが大切というのはそのとおり。京都議定書の関係で も重要になってくる。区内の事業者とも相談し、計画の中に入れ ていけたらと思う。 |
| 吉祥寺が活性化しているのは、井の頭公園があるから。 水辺は人にとって大切。駅周辺に水辺を取り入れて 欲しい。 | 都市の水辺が大切というのはその通りだと思う。何ができるか 考えたい。 |
| 防災マップがとても役立ったという自治体の話を聞いた。 警察と協力して、地区ごとに情報を共有できるように して欲しい。 | 防災マップは大切だと認識している。今後検討していきたい。 |
| 商店街は親しみやすくともあるが、具体案があるのか。 | 商店が減る原因としては、後継者問題があると思う。他区の元 気な商店街は消費者との共感がある。地域の方から求められる 商店街とはどういうものを、他の自治体の取り組みも参考に しながら検討していきたい。 |
| 区民ワークショップで話し合われてきたサブカル チャーが、基本構想の中に入っていないのは納得でき ない。 | サブカルチャーという言葉はないが、コンテンツ産業の中で取 り組んでいく。 |
| 前回NO.4で具体化するといった、容積率を上げること や道路を広げることの計画はどうなったのか。 | 今回は、基本構想の将来像を実現するための全体像を示した。 区が勝手に用途地域や容積率を変更するわけにはいかない。地 区計画を策定することによって実現が可能となる。 |
| 今後みじ山どおりの延伸についてはどうなるのか。 西武新宿線の立体化と重なる話だと思う。 | 早稲田通りから北側については、優先整備路線にはなっていな い。 |
| これから、どう産業を高めていこうとしているのか。 事業者をどのくらい呼び込めるのか。 | 中野の商業の落ち込みは激しい。産業全体を盛り上げていく方 策を全体的に講じていかないと、区民の暮らしもよくなら ないと思っている。 |
| 情報関連ビジネスの表記があるが、中野駅前に10年 間の中で情報関連サービス産業が発展するのか。 | 地域の活性化には、産業が必要である。中野の産業を見てみる と情報関連と福祉医療関連が伸びてきている。これからの成長 する可能性が高い。四谷、新宿の大きな拠点があり、西に伸び ていく傾向がある。 |
| 中野の既存の産業団体に所属していない優良企業が、 現に流出している。さまざまな産業界の声を把握して 欲しい。 | ご意見を参考にしたい。 産業振興については、区と一緒にやっけていこうとしている事業 者とどうかかわっていただけるかを考え、産業集積のための一定の 方向性をもちたいと考えている。 |
| 「情報関連ビジネス」といった具体例が記述されてい るが、奇異に感じる。時代の変化が早いなかで、10年 後にこうした産業がどうなっているかもわからないの に、なぜか。 3月に電通国際情報サービス本社が区外に移転した。 710億円を売り上げ、従業員600人規模の会社だった。 そういう会社がいなくなったことや、なぜいなくな ったのかも把握していないのに、何を根拠に述べてい るのか。 | 中野の立地条件や環境の下では、工業などよりも知的集約産業 が中心になる。中野で伸びていくのも、情報やヒューマンサー ビス、人材サービスだと考えている。 それぞれの本社機能がどうなっているか、情報が入ってくるし くみになっていないのは確か。ただ、歴史的に中野には通信関 連の立地が進んでおり、地元のこういう資源を有効に活用して いなかった反省から、今後はネットワーク化など、発展を図り たいと考えている。 |

| | |
|--|--|
| <p>住宅人口のマスタープラン、住宅を建替えると人口流動があるはず。中野の都営住宅は400倍の募集があった。子育て家庭が安心できるか、一馬力の世帯の給与とのバランスを考えた区営住宅などの援助が必要である。</p> | <p>都営住宅の建替えは、都が行っている。区は建築後10年以上経過し、概ね100戸程度までの都営住宅の移管を準備している。平成17年2月にも江古田一丁目の住宅が移管される予定である。新井の住宅用地の建替えも予定されている。公営住宅には、区営住宅、福祉住宅などがあり、計画は全体の中で進めている。区営住宅は世帯向け住宅である。</p> |
| <p>ワンルームマンションの規制をどう考えているのか。</p> | <p>ワンルームマンション等については、居住水準の維持向上を図るため、要綱で基準を定め指導している。</p> |
| <p>領域 - 1で「産・学・遊・住の機能が調和し・・・」とあるが、ワークショップでも議論された遊びが記されているのは良いと思う。（意見）</p> | |

〔自立してともに成長する人づくり〕

| 質 問 ・ 意 見 | 回 答 |
|---|---|
| <p>幼保一元化については、幼稚園は学ぶことが目的、保育園は家庭生活を補完することが目的であり、一緒にできるのか。（北原児童館運営協議会での意見）</p> | <p>子どもや親が、行きたいところに行けるという選択をできることが大事なことを考えている。負担も同じようにしていきたい。施設を同じにすることは今後の課題と考えている。</p> |
| <p>「学校では、子どもにとって最適な集団規模で教育が確保され・・・子どもの基礎学力が向上しています」という記述があるが、基礎学力の向上を最初に述べるべき。基礎学力が一番大事である。（意見）</p> | |
| <p>「歴史ある芸能や手工芸・・・芸術・文化活動が区内各地で活発に展開されています」という記述があるが、芸術・文化活動が活発に展開されていることを先に記述するべきである。（意見）</p> | |
| <p>「性別や年齢、障害の有無などの区別なく、だれにでも社会参加の機会が平等に保障されており、女性や障害者の社会参画がより一層進んでいます」の表現で、「性別や年齢、障害の有無などの区別なく」としているのに、なぜ「女性や障害者」だけ再度言われるのか。10年後には全国的に解消されているはず。余分な表現である。</p> | <p>女性の社会参画の話。会社等では、女性の昇進が男性と同一でないなど問題がある。今と比べて一層進んでいることである。</p> |
| <p>青少年の社会参画がもれている。学校では習うのに根っこ部分が弱い。</p> | <p>今の子ども達も含んでいる。例えば、大きくなったときにどうなるのか、父親の職場見学をしたり、大人の社会を見せるなどしていく。今の社会参加より進んだ10年後の姿である。</p> |
| <p>育児の環境について、出産すると女性が退職するので中野で3DKなどの家に住めなくなる。育児支援は相談のみではなく住宅の支援も必要である。</p> | <p>子どもが生まれても長く住める区、子どもが1、2人でも狭くない家など、基本構想でも多様で良質な住宅が区内各所で増えていることをめざしており、子育て環境へ盛り込んでいきたい。</p> |
| <p>単身者への配慮をしてほしい。中野は20～30代の単身者のまちである。文化的活動やスポーツ、社会活動など中野でいきいきと活動できるようにしてほしい。（意見）</p> | |
| <p>育児環境について、女性が出産すると家庭は一馬力となくなってしまう。そのため2DK、3DKの住宅に住めなくなってしまう、5年以内に転出してしまう。育児の相談ではなく、住宅を支援できないか。</p> | <p>子どもが生まれてからも、長く住めるような区にしていきたい。子どもが1、2人いても狭くない家を基本構想でも良質で多様な住宅の整備をあげている。子育て環境整備の一つに盛り込んでいきたい。</p> |
| <p>「地域図書館と学校図書館との連携」とあるが、学校図書館は子どもの本が中心ではないか。</p> | <p>たとえば地域図書館の知恵を提供するとか、本を相互利用するとか。学校図書館をすべて地域開放するには、スペースや本の内容、管理の点から難しい面もある。ただ、使える範囲でうまく活用したい。たとえば乳幼児親子の学校図書館利用などもできると思う。</p> |

〔支えあい安心して暮らせるまち〕

| 質 問 ・ 意 見 | 回 答 |
|---|---|
| アメリカは禁煙政策を進めたために税収が減り、健診ができなくなって、重症になる人が多くなっている。 (意見) | |
| 自分の健康は自分で守るということで、前から区民健診の有料化などが言われているが、区民は区民のために仕事をしてもらうために税金を負担している。区民を大切に行政をして欲しい。 | 税収が減少している状況を考えれば、これまでのような区政運営はできなくなることは明らかである。どう変えていくことが大切であり、区民みんなの支えあいやサービスのあり方を変えていく必要がある。 |
| 区民の健康管理に努めてもらいたい。区民健診を受ければ病気の早期発見ができ、医療費の減につながる。 | 健康については、守りよりも攻めの健康づくり・保健福祉が大事になると考えている。 |
| みずからが健康や生活を守り・・・とあるが、「みずから」と強調されている理由は何か。 | 領域の は3つの柱で構成されている。自助、共助、公助である。健康は、まずみずからが守ると思うことが大事である。そういう意味で「みずから」と記述している。個人ができるように、あるいはできないときに行政が側面から支援していくという考えである。 |

〔区民が発想し区民が選択する新しい自治〕

| 質 問 ・ 意 見 | 回 答 |
|--|--|
| 労働力など外国人に担ってもらわないと日本が成り立たなくなるという考えがある。中野に1万人いる外国人との付き合い方、共存共栄の方法など、外国人と仲良くするプランを作るべきではないか。 | 外国人は労働力としても期待されており、区民として一緒に責任を持ってやろうという考えである。 |
| 将来像に「みずから決定し、行動し、参加して自治を担う事を原則に・・・」と記されている。町会や自治会を引き続き支援してくれるのか。 | 町会・自治会については、更に活動が活発になるよう支援していければと思っている。区民活動センターについても、職員が常駐という形ではないが、サポートする人を採用したり、連絡・調整できるような運営経費を確保したいと考えている。 |
| 台風や新潟中越地震ではっきりしたが、災害対策はハード面ばかりでなく、連携等のソフト面が大事である。 | ご指摘のとおりである。防災・被災対応には、地域のつながりと行政の連携が不可欠である。基本構想の将来像においても、そのことを記述している。 |
| 小さな区役所とは、区民ワークショップの議論とちがうのではないか。小さな区役所とするのは改めて欲しい。 | ワークショップでは、地域セルフガバメントに権限を持たせ、区役所本体を小さくするものだったが、民間に委ねたほうが効果的であるものについては民間へ委ねること、行政の効率化を図ることなどで小さな区役所をめざすことにしている。 |
| ワークショップで検討した地域セルフガバメントについて、町会や住区協議会を横断的に結びつける組織であるので、今日明日では実現できないが、将来像に入れられないか。 | 検討する余地はあるかもしれない。町会や住区協議会の枠を超えた新しい自治の単位を作らなければ、地域セルフガバメントはできない。中野区では10年間で実現していくのは厳しいのではないかと考えている。町内や近隣など小さな区域でルールを作り、それを行政が認めていくといった動きが、地域自治につながっていくと思う。 |
| 区民ワークショップに参加していたが、第4分野提案の地域セルフガバメントが盛り込まれていないのはなぜか。 | 地域セルフガバメントは、地域自治の進んだ形であり、この考え方と類似している仕組みは国の地方制度調査会で検討を始めたが、地域をさらに細分化することにもなるので難しい問題がある。基本構想審議会でも研究課題として答申している。区として地域セルフガバメントとして書き込める段階でもない。自治基本条例の考え方の中でも検討を行っている。 |
| 裁判員制度やガバナンスを作りたい。それらをイントロデュースするための施設や説明機関を作る必要がある。 | 裁判員制度と地域のガバナンスの話は少し違う。区では、自治基本条例審議会から答申をもらい、住民が何か仕組みを作る制度を検討している。国の地方制度調査会で言われているのは地域の意見を聞くための地域協議会があるが、ワークショップの議論のように直接何かを決めることとは違いがある。今検討している基本構想に直接盛り込むのは難しい。 |
| 区民が発想し区民が選択する新しい自治を言いながら、地域センターを廃止して区民がやるというのは区が勝手に決めている。 | 区民が選択できるメニューを増やすことを進める。区がなんでもやるというのではなく、区民が考え、作り上げていくことを進める。 |
| 「持続可能な行財政」とは何か。 | 日本全体が借金の中で運営している。そういった状況下で安心して暮らせる環境を維持することは難しく、計画的な財政運営が必要だということである。 |
| 町会・自治会はあるが、住区協議会の記述がない。 | 住区協議会は例示していないが、「さまざまな団体や活動主体」として当然、想定し期待している。 |
| 区民活動センターの担い手に町会も例にあがっているが、町会はその区域内の活動が主である。町会・自治会を特別扱いするのはなぜか。 | 区民活動センターの運営は、町会などさまざまな団体より構成される運営委員会だと考えており、特定の団体に委ねることは考えていない。区民活動センターは、地域に開かれた公平な施設にならなければならない。 |
| 「指標を設けて達成状況を検証し」とあるように、成果重視となっている。評価の方法をどう行っていくのか。区民参加を考えているのか。 | 区の全ての施策について、区民や学識経験者による外部評価を行っている。福祉の施設については、第三者評価も行っている。 |
| ワークショップの共通意見で、PDCAサイクルの徹底を提案した。計画を立てれば終わりではなく、CとAを重視することを基本構想に入れてもらえないか。 | 資料1のP.15で述べている。評価のための指標を掲げ、数値目標を10か年計画を示す。 |

| | |
|--|--|
| NPOの活用といるところなど言っているが、子ども関係は親からお金を取れないため、行政と協働で行わないと育たない。どの分野でNPOを活用するのか、はっきりさせて欲しい。 | NPO支援、活動推進のため、支援センター、支援基金、提案制度などを考えている。 |
| 財政状況は問題である。職員が2,800人から2,000人と少数精鋭主義でよいが、だれが責任をとるのか心配である。産廃問題など後からやってもだめ、区の取組みを示してほしい。 | 財政運営は計画的に進めるため、10年間の数値を示し、中間で方向や達成状況の検証により計画を修正しながら基本構想を実現していきたい。 |
| 「職員の削減を進めて」とあるが、とにかく職員を減らすばかりのような印象を受ける。「職員の効果的な配置を進めて」とすべきである。 | 職員の意識改革と人材育成がまず不可欠。その上でITの活用や事務の見直し、定数管理につとめ、最終的には2000人体制にしていく。財政状況が厳しい中で、人件費の削減は重要と考える。 |
| 区政の発展ではなく、赤字をなくす、職員数削減、事業再検討では残念である。もっと国や都からお金を出させる努力をしてほしい。職員もリストラで不安ではないか。これでやる気ができるのか。中野には議会の傍聴制度や陳情など区民の発意の場があり、誇るべき制度である。 | 国や都も財政再建に必死で、三位一体改革を進めている。今後さらに、国や都からお金を期待するのは難しい。日本はこれから人口が減少し、経済も縮小傾向で財源が増えない。今までのやり方を続け、さらに事業を増やすのは無理である。サービスを増やせば負担も増える。小さな行政だけサービスの質を見守る、区民同士が力を出し合い支えあいも行われている社会でないと、持続可能なまちとならない、どんなサービスをどう確保していくか夢のある社会作りのため、これからも議論して欲しい。 |

指標について

| 質 問 ・ 意 見 | 回 答 |
|---|--|
| 一つの10年後の姿に対して一つの指標を設定することにこだわらない方がよい。長期展望のもと、意味のある指標に限って設定すべきだ。 | 意味のある指標を設定していきたい。行政が何をするというものではなく、成果や満足度がどの程度あがったかをはかるものにする。 |
| 情報提供、電子申請、職員一人あたりの区民の数など、ハードに関する指標が多い。区民満足度が高まっているという観点から、ソフト面の指標も入れたほうが良いのではないか。 | 提案の趣旨を踏まえて、今後検討していく。 |
| 基本構想は立派な内容だが、具体性に欠ける。10年後のまちの姿の目標達成度を計る指標があるが、数字がない。数値を出しどう達成するかがないとわからない。 | 指標に数値がないことについて、10か年計画の中で示していきたい。ただ現在は、国の三位一体改革や都区財政調整制度が固まっていないので、10か年計画の財政的な検証ができない。改革等の情勢を見極めた上で、具体的な10か年の目標を出していきたい。 |
| 防災の視点から、被災予測を指標に入れるべきではないか。 | 地域防災計画で被災想定をしているが、指標として入れるかどうか検討していきたい。 |
| 中野にどのくらい住み続けたいかのアンケート結果をみたら、ずっと住むのは3分の1だった。もっとまちをよくしていく必要があるのではないか。 | お話の調査結果は、ことしの区政世論調査によるもので、「ずっと住み続けるつもり」は32.2%、「今のところは住み続ける」48.1%、「いずれ転出するつもり」9.7%、「近いうちに転出する」2.4%となった。こうしたアンケートも、まちのよさをはかる大切な指標になるものと思う。 |
| 中野区の合計特殊出生率が0.77と知りびっくりしている。品川区では0.88で危機的とし各種施策を行うとの報道があったが、中野区は10年後にいくつにしたいのか。 | 住宅、産業の活性化、遊べる環境など、区全体で施策を考え、生み育てられる中野にしていきたい。 |
| 完結出生児数という言葉を知っているか。完結出生児数は区として把握していないが、独身女性が多く住む中野の現状では、合計特殊出生率はどんどん下がっていくのではないか。区はファミリー世帯を増やしたいのか、独身者を増やしたいのか、それによって指標も変わるはず。完結出生児数が2以上ならよいと考えるべきではないか。もともとそういうデータが不足しているのではないか。 | ご夫婦の間の平均出生児数であり、近年はずっと2.いくつかで推移していると承知している。完結出生児数を区として把握していないのは事実。日本全体でも、比較可能なのは合計特殊出生率ではないかと思う。中野の子ども施策のターゲットとしては、やはりファミリー層がこのまちで子育てをしていけるようにすることだと思う。ご指摘の完結出生児数についても検討させていただきたい。 |
| 「ほとんど毎日外出する障害者の割合」は、目標とどう関連しているのか。関連が分かる指標を設定すべきである。 | 障害者の生活が豊かになったということの一つの現象として、外出が増えたことを選んだものである。外出が増えるためには、ヘルパーの派遣、交通手段の確保、段差解消、障害者への理解などが必要である。具体的には10か年計画で明らかにしていきたい。 |
| 指標に「不登校児等の割合」があるが何のためか。 | 不登校は、様々な要素によりおこるものであるが、その割合が低いということは、毎日いきいきと学校で学んでいるということの一つの指標になり得ると考えた。 |

10か年計画について

| 質 問 ・ 意 見 | 回 答 |
|--|---|
| 10年間で取り組む事業については、修正を行う予定とのことだが、どういった修正をするのか。 | 来年2月に基本構想の議決が得られればと思っている。10か年計画の具体的な策定作業は、その後に行う。意見を修正しながら策定作業を進めると考えて欲しい。 |
| 10年の長期計画は、財政状況の変化などが見込めないのも無理ではないか。3年か5年の計画にすべきである。 | 17年度の国の予算編成の過程で三位一体改革が明らかになる。従って来年以降に計画をつくる。計画は前期5年と後期5年に分け、一定の期間経過後に見直したい。 |
| 「産業カレッジ」や「コミュニティ・レストラン支援」は評価する。お金を生み出すこうした視点をもっとアピールしたい。うまく機能させるためには、区民の人材育成が大切。そのためには、子どもたちに今のうちから投資すべきである。 | 必要なことに投資をすることは大切。一方で、今までと同じように児童館・高齢者会館・学校などをそのまま維持できない。たとえば今の児童館で虐待の子へ対応できないし、地域で不登校児へのケアできない。難しいところだが、全体の中で組み立てを変えることが求められている。 |
| 財政面から民間活力などのPFIを導入しているが、議会のチェックが行き届かなくなるなどPFIは問題が多い。営利企業が税金を食いつぶすイメージがある。 | PFIでは、民間のノウハウや資金を活用することで、江古田の森で導入している。区独自ではできないが、民間の資金を活用して施設を建設する。区はサービスを維持する仕組みを担う。区は、サービスの水準についても第三者評価などを行い民間の提供するサービスの検証をし続けていく。 |
| 中野坂上の再開発に40億円もかけている。お金がないといっているが、本当なのか。 | 中野坂上の再開発については、国の補助金と都区財政調整交付金を活用し、区の持ち出しを少なくすることができた。 |
| 経常的経費が90%を占める中で、職員数2000人は5年後に達成すべきである。23区のうち、中野区は区民一人あたり民生費・児童福祉費・社会教育費・体育施設費などが低い。人件費ばかり使わず、区民サービスへ予算を投入すべきである。 | 財政状況の厳しさは十分認識している。計画策定にあたり、何に重点を置くか、三位一体改革による税源移譲や独自政策のあり方など、しっかり検討していきたい。任期付短時間公務員制度の活用や事業の委託、施設の再配置などにより職員を2,000人体制にしていく。義務的経費のうち人件費は削減が必要だと考えており、事業の執行方法を変えたり、民間委託、IT活用の事業展開などがこれからの時代には必要。そうした中でも、区民に必要なサービスは、きちんと提供していきたい。 |
| 職員白書がまだまとまらない。区民にばかり要求するのでなく、区職員はどうやって区民との信頼関係を築くのかを示して欲しい。もっと外部の教育訓練を受けたほうがよいと感じる。 | 職員白書は、庁内で検討中である。10か年計画の中で、どういう働き方・資質向上の方策があるか検討している。おもてなしや接客6つの約束についても息長く取り組みたい。 |
| 中野区の職員の多くは、区外在住者である。税金が中野区に入ってこない。職員住宅の建設は計画しているのか。 | 過去には、入区して間もない若い職員や保母の単身者寮を増やしてきた。これからは、公務員の働き方も変わってくるし、福利厚生も見直していかなければならない。職員住宅を増やすことは考えていない。 |
| 10か年計画では、学校跡地の利用を含めて財政的見通しを示すといっていたと思うが、どうなっているのか。 | 当初は一齐に発表しようと思っていたが、教育問題をしっかりと話してから施設配置について考えたほうが良いと判断した。 |
| 財政が厳しいといいながら、サンプラザを買ったり、庁舎の移転計画を進めているようだ。庁舎改修のための経費を基金に積んで区民生活を圧迫している。 | サンプラザについては、サンプラザを所有するための会社に2億円を出資した。区役所の移転については可能性を検討している段階。基金は区役所の会計が単年度会計のため必要になってくる。無駄な積立をしているものではない。 |
| 財政調整基金は何に使われているのか。 | 税の減収時のための備えである。15年度については、約19億円の財源対策をおこなった。 |
| 10年後の中野区を考えるとということは、財政の裏づけがなくてはならない。財政的な説明が不十分だ。 | 財政の裏づけが当然必要だと認識している。現在、具体的な内容がお示しできないのは、三位一体改革の内容と影響がはっきりわからないためである。財調についても検討しなければならない。基本構想の議決後、10か年計画を策定していく中でお示ししたい。 |

| | |
|---|--|
| 「基金の積み立て」が記載されているが、果たして今の財政状況で積み立てができるのか。 | 区民の安全を考えると、道路等の管理は計画的に行なう必要がある。そのための基金であり、積み立てについては計画策定のなかでしっかり検討していきたい。 |
| 行財政の考え方でこれから新しい基金を創設するとあるが、現実にある基金がいくらあってそれをどう使っていくのか。 | 目的ごとに基金が設けられていて112億円になる。ピーク時から比較すると3分の1程度になっている。現在ある基金のほかに、道路・公園整備基金等の基金を創設していきたい。 |
| 三位一体改革によって、国は地方や個人の負担を増やそうとしている。国や都に取り込まれないようにがんばって抵抗して欲しい。 | 地方6団体から投げた考えに国はゼロ回答の状態。きちんとした分権改革ができなければ、日本は滅びてしまうと思う。 |
| あらゆることをゼロベースで見直すとしているが、なぜゼロベースで見直さなければならないのか疑問である。これまで区民と区が積み上げてきた歴史、伝統、財産がある。それなりの理由があってしかるべきである。なかなか納得できない。 | 日本全体で今までのやり方では財政的に厳しい状況になってきている。少子高齢化など新たな財政需要により財政が厳しくなることが見込まれる。基本構想の将来像にあわせて何が必要なのかを踏まえたうえで、施設やサービスを考えていきたいという意味でゼロベースという言葉を使っている。ゼロベースの中では、区ではやらないが民間で担える部分や区民が担う部分もあわせて考えている。 |
| 「介護予防事業を総合的に実施する」とあるが、具体的にどう進めるのか。 | 要介護状態にならないための介護予防は必要である。昨年度からモデル事業として実施したマシーントレーニングだけでなく、みんなが集まって何かを行うことも介護予防の一環と考えている。 |
| 助成金が減ってきているが、老人クラブへの支援はしてくれるのか。 | 助成金については、区の財政状況やクラブの会員数等を考慮してのものである。ご理解いただきたい。区として支援していくことに変わりはない。 |
| 草津ではヘルパーの出勤簿を訪問先に置いたら、業務が改善し、経費も削減できたと聞いている。中野でも導入したらどうか。 | 草津での話はテレビで見た。中野で何ができるか研究してみたい。 |
| 区民健診を有料化するというのを聞いているが、早期発見ということから考えると、導入するべきでない。病気になるのも自己責任ということか。 | がん検診は現在でも有料化している。区民健診には約11億円かかっている。国からの補助金が減らされていく中で、有料化しないと維持できない。負担の公平性からも有料化は適当だと考える。 |
| めざす姿で、子どもたちがのびのびと遊び交流する場の形成といいながら、取り組みが児童館の再編というのではギャップがある。 | 児童館の再編するとともに学校施設などを活用し、子どもたちがのびのびと遊び交流する場を形成するという考えである。 |
| 小学校の高学年まで医療費を無料にしている区があるが、中野区でも導入する気はないのか。 | 医療費の無料化は、子育て支援策の一つとして導入しているもので、中野区では、医療費ではなく、他の施策を展開していくことを考えている。 |
| イギリスでは教師選択制が導入されている。検討はなされているか。 | 将来、教師選択制の導入の可能性は出てくると思う。今は難しい。まず教職員全体のレベルアップが第一であると考えている。指導力の向上に尽力する。 |
| 教育は平均的、合理的でなく、信念をもって大胆に進めるべき。教育委員会には自信を持って学校選択制を実施してもらいたい。 | 区民の理解をまだ十分にいただけていないことや、都の学級編成基準見直しの動向等を見極めるため、導入を見送っているが、選択制によって極端に学級数が少ない学校が出ることで集団の中で学ぶという点から弊害が生じないように配慮もしながら、今後、検討していきたい。 |
| 学校選択制が導入されると、学校の学級数に格差が出る。人気のある学校では校舎が狭くなる。どうするのか。 | 学校選択制の導入は検討中である。学校再編計画の実施により、手狭になる学校が生じた場合等は、増改築についても検討したい。 |
| 子育てにとっては親子がじっくり関われる環境づくりが必要。施策を見ると保育支援ばかりあげられている。 | 親子のふれあいが大切だというのはそのとおりである。一方で働く女性が増え、保育を必要としている家庭が増えているので、保育サービスは充実していかなければならない。 |
| 学童クラブの民間委託には反対である。 | 公務員が行なう今のサービスは午後6時までで給食もないが、民間の力を借りれば8時まで可能になる。現にニーズがある状況なので、一歩ずつサービスを向上させていき、全体として子ども施策を推し進めていきたいと考える。 |

| | |
|--|---|
| <p>人口推計で少子高齢化の傾向になっているが、10年後に子どもの数が増えるような計画を作ってほしい。子育て世代が子どもを2人、3人と産むことをめざす中野であって欲しい。</p> | <p>少子化になっている原因は、晩婚化、未婚化、結婚後の生き方等さまざまな原因がある。保育園の整備やショートステイ、一時保育の要望もある。ファミリー層が中野区に入ってこられるようなまちにしていかなければならない。子育て育成計画については、次世代育成支援行動計画の中で示していく。現在の中野区の合計特殊出生率0.77を上昇させていければよいと思っている。</p> |
| <p>少子化の傾向は、中野区の住宅事情があるのではないか。出産しても中野区に住み続けることができる住環境にして欲しい。</p> | <p>少子化対策は、総合的に進めていかなければならない対策であると思う。公的な事業展開、民間の事業展開・誘導等住宅の確保を図っていきたい。</p> |
| <p>学校公開に行ったが、生徒同士のやり取りが少なかったように思えた。それが今の姿なのか。そのやり方で学力がつくのか心配である。</p> | <p>教師によって違ってくると思う。全体的には生徒間のやり取りは多くなっている傾向にある。</p> |
| <p>少子高齢化といわれているが、今の政治は子育てに力を入れていない。</p> | <p>子育ては区政の柱の一つとしてしっかりと位置付けている。</p> |
| <p>学校再配置の前に、新しい教育をめざしてほしい。小・中一貫教育など魅力ある教育・学校を期待している。</p> | <p>教育の中身が大事だというご指摘だと思う。再配置も充実した教育をおこなうための一つ的手段に過ぎない。現在、教育ビジョンを作成している。基礎学力の習得、人間関係力の向上、コミュニティづくりなどを主要事項として考えている。</p> |
| <p>子育て支援に力を入れると言いながら、行財政5か年計画では、子ども関連のサービスをいくつも削っている。</p> | <p>厳しい経済状況の下、中野区の財政全般を見直した計画である。個人や地域、民間事業者が担えるものがないか、子育てに本当に必要なサービスとは何かを考えた結果、確かに削減したものはある。10か年計画においても、子育てに本当に必要なサービスが何か、区としてやるべきことは何か、意見を伺いながら検討していきたい。</p> |
| <p>保育園や児童館、図書館等の民間委託を実施していくようだが、いいサービスを維持するためには、いい人材を確保しなければならないし、そのために人件費がかかることには納得できる。コスト削減のためだけに民間委託を進めるべきではない。</p> | <p>いいサービスを受けるにはお金がかかるが、それを負担するのは区民であり、負担には限りがある。必要なサービスを提供するためには、新たな工夫が必要になる。区民全員で知恵を出し合って、乗り切っていかなければならない時だと理解して欲しい。民営化は、保育時間の延長や休日保育の充実など、子どもとその親にとってのサービスを向上するために検討しているものである。コスト削減のためだけではないことを分かってほしい。</p> |
| <p>江東区の例を見ればわかるとおり、都営・区営住宅をはじめとした住宅施策と子育て支援策により、人口が変わってくると思う。住宅施策については、どう考えているのか。</p> | <p>都営住宅の区への移管を順次進めている。また、公営住宅はストック総合活用計画を策定し、計画的かつ適切に建替え及び維持保全・改善を行っていく。</p> |
| <p>福祉住宅を誘導するとあるが、どういうことか。</p> | <p>さまざまな事業主体により福祉住宅を確保するということである。誰でも利用しやすい住宅にするという視点から進めていく。</p> |
| <p>環境問題が重要なので、将来の課題に入れて欲しい。書き込みが十分でない気がする。</p> | <p>10か年計画の中で環境部門の書き込みが不足していることは、課題として認識している。現在、環境政策の体系を整理している。温暖化ガスの抑制、例えば自動車交通の抑制やクリーンエネルギーの発電など、区としてどのように工夫できるか検討中である。</p> |
| <p>中野の環境をよりよくするような専門的研究をする環境カレッジを作って欲しい。</p> | <p>環境カレッジという名称を使用するかどうか分からないが、課題として検討していきたい。</p> |
| <p>人口推計資料は、定年が60歳なのに64歳までが生産年齢人口の区分になっている。実態と違うのではないか。</p> | <p>15歳から64歳までを生産年齢人口として区分するのは、国及び他の自治体でも行っている。15歳を生産年齢として捉えるのはどうかといった意見もある。子育て施策やまちづくりが合計特殊出生率や人口増にどのように結びつくのか推計するのは難しい。ご指摘の点は次回までに工夫して示していきたい。</p> |
| <p>印鑑登録をコンビニ等でできるようになると、便利だが、個人情報の漏洩等が心配である。</p> | <p>コンビニ等での取扱業務は住民票などの証明書の交付に限定しようと考えている。証明書の交付についても個人情報の保護を確保したシステムで実施する。人件費等の削減、事務の効率化を図る必要があることは理解していただきたい。</p> |

| | |
|--|--|
| 西武線の立体化は、具体化されているのか。 | 基本構想では、10年後に取り組んでいる姿を示している。 |
| 地区計画によるまちづくりとあるが、上鷲宮の地区計画が記述されていない。 | 例示しなかったが、上鷲宮の地区計画は進めていく。記述は工夫したい。 |
| 地域交通の整備の具体的展望はあるのか。 | 鷲宮・上鷲宮方面から、乗り換えなしで中野駅周辺までのバス路線新設の支援について検討している。 |
| リサイクルするとリサイクルごみが新たに出て、コストがかかる。ごみの減量とリサイクルについてどう考えているのか。 | まず、ごみの発生を抑制する。それでも出てくるものについては、焼却する一方、できるだけ資源化して、埋め立てごみのゼロをめざす。リサイクルには多大な経費がかかるが、収集・運搬に係るものが大きい。このコストをいかに抑えていくかがポイントだと考えている。 |
| 男女平等推進センターを設置するようだが、今の女性会館では何が問題で見直しをするのか。 | 男女共同参画を命題として女性会館を設立したが、社会における意識等も変わってきている。設立当時表面化していなかったDV(夫やパートナーからの暴力)などの問題にもあり、それらに対応できる機能を持つべきだとも考えている。女性だけでなく男性が利用する施設として、男女平等推進センターにリニューアルする予定である。 |
| 東中野駅前広場についてはどうなっているのか。 | 昨年の12月から今年の5月にかけて6回、区民の皆さんとの意見交換を行った。そのご意見を踏まえ、現在、JRと協議中である。できれば駅舎の出口から直接広場へいけるようにしたいと考えている。新しい交流の中心としての広場にしていきたい。 |
| 中野駅周辺のまちづくり、警察大学校跡地の利用計画については、どうなっているか。どのくらいの予算額を見込んでいるのか。 | 5月に考え方をまとめて、今後、まちづくり計画をまとめていく予定である。方向としては、にぎわいと環境の調和したまちとして、検討を進めている。なお、警察大学校跡地の一部には平成20年3月に警察病院がオープンする予定になっている。今後まとめるまちづくり計画の中で、一定の考え方を示したい。なお、清掃工場は導入しないこと、隣接する中央中学校がある地区を含め、地区内に新しい学校をつくるという考えはある。駅周辺のまちづくりについては、別途説明と意見交換の場をつくる。北口も南口も含めて、中野駅周辺地区全体を考えたい。全体の事業費はまだ出ていない。中野駅周辺再開発のうち、警大跡地については、できるだけ税金を使わずに開発者負担としたい。皆さんから要望のある公園の確保については、区の予算で支出することを検討している。 |
| 中野はもっと早く中野駅周辺のまちづくりを始めるべき。優先順位をつけていく必要がある。 | 区民のみなさんのご意見をじゅうぶん伺いながら、できることから一定のスピード感のあるまちづくりを進めたい。商店街などの既成市街地についても、検討していきたい。全体の優先順位については、10か年計画計画の中では、取り組み年次(前期5年は各年次、後期5年は5年間の総量)をお示しできるようにしたい。その中で、事業全体の優先順位も示したい。 |
| 中野駅周辺まちづくり計画に、基本構想の理念が生かされていない。 | 現在検討段階なので、計画策定までに十分検討していく。 |

施設配置について

(小中学校)

| 質 問 ・ 意 見 | 回 答 |
|--|---|
| 学校再編計画(案)とあるが、今後変更されることも想定しているのか。 | これまで長い時間をかけて検討してきたもので、基本的にはこのまま進めたいと考えているが、みなさんの意見を聞いて変える必要のあるところは変更する。 |
| 学校再編計画案が示されたが、計画実施を前倒しすることはあるのか。 | 今回お示ししたものは案であり、また、5年後に再編計画を見直しするという意味においては、前倒しはあり得る。意見交換会をはじめとした皆さんの意見を伺った上で決定していく。 |
| 学校の計画は15年、基本構想を実現するのは10か年計画と違う。学校も10か年でよいのではないが。再編は早い方がよい。 | 再編は早い方がよいが、5年計画でも全部終わらないなど難しい。新校舎の補助金は、50年経過しないと出ないなど、財源の問題もある。残りの組み合わせ校についても10年で終わらない。意見をうかがいながら、時期についても検討したい。 |
| 今回の学校再編計画案は5年で見直しをすると聞いている。中・後期の再編案についてもきちんと見直しをして欲しい。 | 今後の児童数等を見て判断していきたい。 |
| 学校再編計画における児童・生徒数の予測は、10か年計画等で検討されている大規模開発等を見込んだものなのか。 | 大規模開発については、現在、把握している範囲で考慮して算出した。 |
| 子どもの数が減ったから即、統廃合というのでは納得できない。周辺の動揺も大きい。 | 学校再編は、よりよい教育を受けてほしいという考えから検討しているものであると理解してほしい。色々な考え方があると思うが、一学年に複数学級あった方が、行事等での競争や色々な人間関係が経験でき、それが子どもの成長に欠かせないものであるという考えである。 |
| 今回の再編で母校がなくなってしまう。子どもの数が減ったから即学校をなくすというのはいかがなものか。また、学校名についても歴史があるものなので考慮して欲しい。 | 児童・生徒数が少なくなるとクラス替えもできなくなるなど、人間関係にも影響が出る。学校名については基本的には新しい名前になる。地域で名称を検討していただきたい。 |
| 母校がなくなるのは寂しい。学校があれば、災害のときも避難場所として機能するはず。何らかの形で残して欲しい。 | 心情的にはわかるが、今の子は各学年1クラスだけになってしまっているので、理解してほしい。避難所・備蓄倉庫として活用している学校なので、その後の活用にあたってそうしたことに配慮するし、区の施設全体として備蓄や避難ができる体制を整える。再編をふまえた、新しい防災のあり方について示していきたい。 |
| 小学校の再編について、子どもの数が1/3に減った。子育て世代が中野で暮らせないのでは。学校適正規模は標準でなければだめなのか。 | 子どもの数は、ここ10年で急速に減ってきている。中学校では、私立指向も影響している。学級は何人が適正かの科学的な根拠はない。子どもが健全に育成される人間関係を築くには、少なくとも2クラス、できれば3クラスが望ましいと考える。ただし地域事情もあり一律では難しいが、学年1クラスという状況はできる限り早期に解消したい。クラス編成については、都は40人を堅持している。少人数のほうが学習がはかどる算数、国語といったものと、体育、音楽、社会の発表など大人数が良いものがある。区では、状況に応じ先生を配置し対応している。 |
| 外国では1学級18人~25人が多い。日本でも30人学級を導入し、学習に集中した、不登校児が減ったというデータがある。30人を基礎として欲しい。 | 人数については、20人以下で成果があるのか否か、言われたことの逆のデータもある。30人も40人も良い点や悪い点がある。ただ1クラス16人で女子が3人では、一度人間関係が崩れると6年間はずらい。クラス替えなどで逃げることも大切となる。少人数のほうが効果が上がるものについては少人数指導をしていく。中野で30人編成とすると100人教員が増え、区の負担ではやりきれない。科目により先生を効率的に配置したい。 |
| 少人数より多人数の方が、子供にとっていいことだと思う。学校再編の考え方には、そのことを盛り込んだ方がよい。 | 子どもは、多様な集団の中で社会性を身につけることが大切である。少規模グループの中でのいじめを心配する声もある。常識的に考えて、10数名の学年ですとずっと過ごしていくのが教育上どうなのかと思う。 |

| | |
|--|--|
| <p>中野区が考えている学級数が、どうしてこの数でなければならないのか。</p> | <p>学校は、何学級でなければならないということは難しい。審議会答申にもあるが、望ましい学級数は、12学級(小学校)であると言っている。答申を無視したわけではない。これをベースに考えている。</p> |
| <p>学級規模は、なぜ40人規模が基本になっているのか。</p> | <p>東京以外の自治体では、30人学級が広がっているところもあるが、少人数学級で教育的効果が上がっているという客観的な検証は、まだされていない。やはり、一定の人数があった方がいい。授業内容により、習熟度別、少人数指導など効果がある場合もあり、その場合は教員を増やしてやっていきたい。</p> |
| <p>3都道府県だけが30人学級を実施していない。30人学級にするべきだ。</p> | <p>区は現在、平均すると1学級30人程度になっているが、1学級何人がよいかは難しい問題だ。30人学級で31人になると、15人と16人の2クラスができてしまい、男女比のバランスが悪くなったり、行事や音楽、体育の授業に支障をきたす恐れも出てくる。40人学級を前提に、教員の複数配置による習熟度別授業や少人数指導を実施して、40人学級のデメリットを補っていきたい。</p> |
| <p>1学級40人でも少ないと思う。50人で教員が2人いるのが望ましい。1学級あたりの人数を少なくすると、人間関係でつまづいたときに逃げ場がなくなる。</p> | <p>子どもの教育にとって、どのくらいの規模がよいのかは、難しい。1学級40人を基本としつつ、少人数対応の授業を別途実施するなど、できるだけ柔軟に対応できればと思っている。</p> |
| <p>少人数授業を実施すれば、子どもたちの学力が向上し、塾に行かずに済むようになると思う。</p> | <p>少人数授業にすれば、即、基礎学力が向上するというのではないと思う。人数だけでなく習熟度も考慮した授業が必要だ。40人学級を前提に少人数、習熟度別授業を組み合わせることで学力向上を図る。</p> |
| <p>統廃合すると、通学に際して遠くなったり、危険なところが出てくる。安全性には十分配慮して欲しい。</p> | <p>今より遠くなる場所は出てくるが、安全性には配慮する。</p> |
| <p>小中学校統廃合については、統廃合で規模が大きくなるとよい教育ができないし、通学区域も広がる。子どもの権利条約にも「適切な教育を受ける権利」があるはず。きちんと話し合ってから進めるべきである。</p> | <p>新しく学校全体を見直して再編するので、統廃合という位置づけではない。現在から比べると、学校の規模は大きくなるが、たとえば1クラスしかないという状況は問題であると考えている。最低でも学年に複数の学級をつくって、子どもたちがいろいろな環境を体験できるようにしたい。逆にこれをしないと、よりよい教育ができないと考えている。今回の再編で、できるだけ通学が遠くならないように考えたが、すべて完璧とはいえないのは確か。子どもたちの安全な通学について工夫していきたい。</p> |
| <p>学校が再編された後の廃校は、今後どのように活用されるのか。売却する可能性が高いのではないのか。</p> | <p>すぐに売却するという考えはない。総合公共サービスセンターや区民の活動拠点にできないかという考えもある。近くに大きな公園がないのなら大きな公園も考えてもいいし、民間活力で福祉施設を作れないかということもある。</p> |
| <p>国から土地を借りている学校で用途を変更する場合は、国が返せと行ってきても絶対返すべきでない。</p> | <p>国から借地している学校があるが、今後も有効に活用していきたい。</p> |
| <p>統合の対象となっている学校の児童・生徒は、学校を選択できないか。</p> | <p>統合されるのがわかっているのだから、新しい学校に予め入りたいというご質問だと思う。平成17年度は行わないが、平成18年度以降は、再編に伴う指定校変更の希望を認める方向で検討していきたい。</p> |
| <p>学校選択制はどうなったのか。来年は行わないということを知ったが、将来的に再編により実際に児童が通える距離には1校しかなくなる。</p> | <p>今年の夏に学校再編計画を策定できなかった。都が学校選択制で極端に1学級が少なくなった場合の学級編成の基準を検討している等の理由で当面、学校選択制を見送った。いつから実施するのかは決まっていない。</p> |

| | |
|--|---|
| 学校再編計画案の資料を見たが、障害学級が入っていないのはおかしい。 | 次回に示す資料には、障害学級も入れていきたい。 |
| 学校再配置により障害学級はどうなるのか。障害学級は残して欲しい。 | 障害学級の規模は確保する。再編によって減らすということはない。特別支援教育という視点から検討していきたい。 |
| 再編に伴い、障害学級の設置校が変わる場合、現配置校からの距離等を考慮して欲しい。 | できる範囲で距離についても配慮したい。5年後に改めて計画の見直して決めていきたい。 |
| 3つの小学校を一緒にすることだが、通学区域の面や地域の目が届かなくなるなど、子どもが危険になるのではないかと。地域で子どもたちが育つということにならないのではないかと。 | 小学校の小規模化が進んでいるため、3校の統合を考えている。子どもの安全は、通学距離の長さも関係するが、むしろ地域のふれあい・支えあい大切である。学校と地域、学校と保護者との関係をより緊密にすることが、子どもの安全の向上につながる。子どもの遊び場を学校に入れることも、その意味で有意義なものと考えている。 |
| 新しい校舎を作らず、今の校舎を改修するとしていたが、警察大学校跡地では新築としている。どうしてか。 | 可能な限り現在の校舎利用し、できれば築50年まで使いたい。50年を超えれば建替えを考えている。統合校は、現地での建替えは難しいため、用地を確保し建設することとしている。 |
| 地域の小学校が廃止されるという話は4～5年前から出ていて、地域では戸惑っていた。ここに至るまでの経緯を教えてください。学校の説明会はいきなりこうだといわれた感じ。町会やPTAにあらかじめ説明して学校での説明会につなげるべきだったのではないかと。 | 平成9年から12年まで適正規模適正配置について検討していた。その後、区の内部で検討会を持ち報告書をまとめた。一方、学校の組み合わせは3月～10月に教育委員会で非公開で検討してきた。段階を踏んでの説明というのはそのとおりだと思うが、学校名が出る影響を考えると一斉に発表したほうが良い判断した。 |
| 教育についてどのように住民の意見を吸い上げていくのか。統廃合にしても住民としっかり話し合わなければ進んでいかない。全てを一つの基準でまとめるのではなく、地域事情によってばらつきがあってもいいのではないかと。 | 再編を進めていくには住民の方の力を借りなくてはならない。説明会を開催し、検討会を設置して進めていく。今回考え方の基本的事項を示したが、全てをそれにあわせてきっちりとやっていくことは不可能。示した範囲の中でやっていく。 |

〔子ども施設〕

| 質 問 ・ 意 見 | 回 答 |
|---|---|
| 前期に再編となる小学校については、児童館の見直しをいつ行うのか。 | どの時点で学校に入れていくかは、今検討中である。 |
| 児童館の見直しは、児童館利用者の声を聴いて進めて欲しい。 | 児童館ごとにも説明をするので、希望があれば児童館職員に声をかけて欲しい。 |
| 学校図書館の中には、上級生が下級生に読み聞かせを行っているところがある。一人っ子が多い中で、いろいろな年代の子どもと遊べる環境が必要ではないか。 | 小さい児童館で大勢が遊ぶことは困難である。学校や残る児童館では異年齢交流も必要と考えている。 |
| 学校を子どもの居場所にするというが、低学年の子たちは上級生が授業をやっていれば、校庭などは使えないのではないか。 | 校庭がつかえないときは体育館を使うなど、学校と協力してやっていきたい。 |
| アンダー・エイティーン編集委員をしているが、児童館に私たち中学生が入れなくなるのではと心配している。 | 中学生がもっと使いやすい児童館にできるよう、小学生の遊び機能を学校に移すと同時に、中高生が専用で使える児童館をつくりたいと考えている。 |
| 児童館が遠くなると、使い勝手が悪いし、中高生館ができるとその他の児童館に中学生が行きづらくなる。児童館は地域が作り上げてきた財産。ワークショップでも児童館や学童クラブの再編の議論をしながら、区が計画化しようとしている。もっと区民意見を尊重すべきである。 | 現在の児童館は、基本になる児童館として異年齢交流や乳幼児対応の場として残る。その上で、いくつかは中学生が使いやすいものにする。児童館は地域の参加で盛り上げていただいた。今後小学生が学校で遊ぶようになれば、地域のみなさんも学校と連携が広がり、交流を拡大できる。 |
| 学童クラブを学校へ入れる話だが、学童クラブの子は家に帰るのに、学校で受けるとすると、学校の延長上となりくつろげないのではないか。児童館の方が良いと思う。 | 学童クラブが小学校へ入ると学校生活の延長上となる懸念であるが、メリットもある。学校で展開すれば、学童クラブに入っていない子と一緒にのびのびと遊べる。また学童クラブへの移動がなくなるなど安全・安心という面がある。課題はいろいろあるが議論をしながらよりよくしていきたい。 |
| 学童クラブは、学校にあったものを地域や保護者の声で児童館に移した経緯がある。学校の広い校庭や体育館を使用できるとしても使用に制約があり、子どもは狭い部屋で過ごさなければならなくなるのではないか。かつて青年館を廃止するときに児童館が居場所の一つとして説明された。児童館を減らすことで子どもたちの遊び場、居場所がなくなるのではないか。基本構想の将来像からかけ離れているのではないか。 | 学校に児童館機能や学童クラブを入れることにより、子どもを地域、保護者、行政が同じ視点で子どもの時間を共有化し、地域の拠点となることを考えている。また乳幼児が使いやすい児童館になり、中高生対応の児童館を設けることにより、全体として子どもの遊びの場確保を十分やっていけるようになると考えている。 |
| 小学校へは乳幼児や中高生は入れないではないか。 | まず乳幼児や中高生が中心に使える場所があることが大事である。さらに多様な世代と一緒に過ごせる場所があれば良いと考えている。 |
| 乳幼児対応施設、中高生対応施設となぜ分けるのか。 | 今の児童館は小学生が中心の運営である。今の広さで乳幼児や中高生と一緒に遊ぶのは大変である。 |
| 学童クラブや児童館の再編も、学校再編計画とあわせて検討して欲しい。 | 児童館の再編は、学校の再編を前提としたものではない。ただ、学校の再編と関連が深いので、学校再編計画の動向を見ながら、検討していきたい。 |
| 児童館を春に廃止すると聞いている。児童館の機能は残して欲しい。 | 計画はまだ決まっていない。乳幼児、小学生、中高生と対象別に場所を確保し、児童館の機能を展開していきたいと考えている。それにあたって全体として児童館の数が減る可能性があるということである。 |
| 乳幼児親子が安心して遊べる施設（大きな児童館）が警大跡地にあるといい。 | 既存の児童館と学校を有意義に使って、児童館の機能を充実させたい。乳幼児親子を対象とした施設も児童館の再編計画の中で十分検討する。 |

| | |
|---|--|
| 児童館は地域の子どもセンターとして行事をしてきた。地域の歴史や活動拠点であり、統廃合されると地域の人たちの結び付きと財産がなくなるのではないか。 | 再編すると拠点がなくなるとののだが、今の児童館は0～18歳まで使える施設である。現実には小学生が中心であり、乳幼児・中高生には施設が十分対応できていないなど問題もある。今回全体を整理し利便性を向上するため小学生は学校施設を使い地域の人たちとかかわりあいながら地域交流の場としていきたい。乳幼児親子は、空いたスペースや(仮称)総合公共サービスセンターが使用できる。中高生についてもきちんと対応していく。 |
| 学童クラブを校内へ移すと、学校行事にぶつかり肩身が狭くなるのではないか。 | 学校にも協力してもらい、そこから学校・児童館、地域の子育て参加の場に繋げていきたい。学校との一体化のメリットを生かし、デメリットを減らしていく努力をしたい。 |
| 乳幼児親子にとっての一番のニーズは「近い場所」であることだ。児童館で乳幼児対応をする場合、そのことを忘れないで欲しい。 | そのニーズは理解している。ただ、児童館28館の維持は、財政的に困難である。できる範囲内で配慮したい。 |
| 小学校の空き教室、体育館、校庭についての現況をきちんと理解していないのではないか。上鷲宮小の場合、各施設は目一杯利用されている。本当に学童クラブを入られるのか。 | 学校の再編計画や各地域事情を見ながら、慎重に検討していく。 |
| 小学校の統廃合は仕方が無いが、学童クラブを学校に取り入れるということと、子どもたちの将来像とは反しているのではないか。子どもたちが学校内に囲われて強制的に遊ばされるのか。校庭などは授業優先になってしまう。子どものための学童クラブであるはず。文園クラブで懇談したとき、子どもは「学校が終わったら、校舎から抜け出したい」と話していた。 | 今の28館の児童館は、ほとんどが小学生への対応が中心になっている。本来対象である0～18歳の子どもたちのうち、中学生や乳幼児のためにもっと施設を活用したい。学校の広い校庭を有効に使うことは、子どもたちにとってもいいことと考えている。授業と利用が重なることについては、いろいろな対応が可能だと思っている。学童クラブについて、これを学校に入れる理由は2つある。親が安全のために学校内クラブを希望することと、学童クラブの今のスペースを乳幼児の親等が活用できるようにしたいということ。 |
| 最終的に残る小学校の数と同じ児童館が残るのか。 | いくつがよいのか、議論がある。今の1小学校区に1児童館は維持できないだろうと思っている。 |
| もともとこの地域の小学校区域には児童館がない。子どもたちは児童館が欲しいはずである。 | 子どもを0～18歳ととらえて、全体の施設配置のバランスを考えながら施策展開していきたい。 |

〔区民活動センター〕

| 質 問 ・ 意 見 | 回 答 |
|--|--|
| 区民活動センターの運営には個人でも参加できるのか。 | 地域の話し合いの中で決めていただく。 |
| 区民活動センターの運営の仕方がわかりづらい。運営は、自分たちが責任を持つということになるということなのか。そこまで地域に担わせることについて、無理だという声もある。 | 地元の町会等で運営委員会を作って自主運営をしてもらいたい。必要な経費は予算措置をする。専門的な事業者にも業務を委託することもできる。いずれにしても、区民活動センターを有効に使ってもらえるように、地域の方々が工夫して自主運営をしていければと考えている。地域センターの職員が一生懸命やってくれているという評価はありがたいが、一方で職員がやりすぎていた反省もある。地域グループ同士が協力しあうという新しい展開もでてくるのではないかと。今まで区の職員と一緒にやってきたというイメージから、後ろを振り返ったときに区の職員がいるという支援の仕方にしていきたい。 |
| 地域の中から人材を見つけることが必要とのことだが、実際は困難な場合が多い。切り捨てられるという感じがする。 | 地域の中に人材はいると思う。そのような人を確保できるように委託を考えている。地域のネットワークが益々必要となるが、そのサポートはしていく。 |
| 地域センターが区民活動センターに変わると、親切で公平な職員がいなくなり、町会等が管理することとなると聞く。公平性が損なわれてしまうのではないか。 | 集会室の使用をはじめとして、公平・公正化が図れるよう、十分配慮していきたい。地域とのパイプ役は重要であると考えている。職員がセンターに常駐しないだけで、その役割は確保したいと考えている。 |
| 窓口を4か所に集約するというが、サービスの低下になるのではないか。 | 窓口を4か所にするといっても、高齢者の相談は地域在宅介護支援センターで受けるとか、収納はコンビニエンスストアなどでできるなど不便にならないようにする。 |

| | |
|--|---|
| <p>地域センターが廃止されると活動しにくい。部屋だけ残るからといわれても、今の職員の努力が大きく心配である。コンビニでのサービスは、守秘義務、プライバシーの問題がある。</p> | <p>地域と行政とのパイプは、たとえセンターに職員を配置しなくとも確保していきたい。情報や資料提供はきちんとしていきたい。地域に職員がいると職員ができる範囲に傾くなど、住民の方の主体性を削ぐところにもなりかねない。主体は住民の意思でありきちんとこれを位置づけていきたい。コンビニでの展開はいくつかやり方があるので、プライバシーへも配慮した方法ができる。</p> |
| <p>集会室の料金は、誰がどのように決めるのか。</p> | <p>料金については、区で统一的に決めていきたい。</p> |
| <p>地域センターを区民活動センターにすることで、地域の自主性・主体性が高まるとあるが、現実には職員がいなければ成り立たない。現場を良く見て決めて欲しい。</p> | <p>職員がいなければ地域活動ができないということはないと考えている。振り向いたときに職員がいるという姿にしていきたい。</p> |
| <p>地・住構想は地域分権を謳った立派な内容。ぜひその機能は持ち続け、所長は引き続き地域の区長室として、15の地域の実情にあった役割を果たし、分権ができるようにして欲しい。</p> | <p>地域センターは、区民活動センターに衣替えし、地域団体で構成する運営委員会で運営をお願いするとともに、支援業務にあたる人を雇用できるようにする。地域活動のコーディネーターも配置していきたい。 地・住構想の発想は、自治法の「地域自治組織」の考えにも繋がるものである。ただ、実際にはメンバーが固定化し区民の認知度も上らず、地域の総意をまとめていく基盤としては十分ではなかった。そういうものをどう作っていくかについて、自治基本条例で考えていきたい。</p> |
| <p>地域センターをなくし、区民活動センターは、空いた学校を使うと聞いているがどうか。</p> | <p>以前は、再編で空いた学校跡地利用についても示すとしていたが、まずは、学校の配置を整え、その後に再利用とした。空き学校は、仮称総合公共サービスセンターや公園、民間の特養ホームなどの案を考えているが具体的な当込みはしていない。区民活動センターは、今の地域センターを活用していく。施設の建替え等で変わる場合もある。</p> |
| <p>区民活動センターへの転換は慎重に行うべきだ。</p> | <p>2年間の準備期間を設けて、地域の方と十分に意見交換した上で区民活動センターへ転換していきたい。</p> |
| <p>これまで、地域や個人で担えないものは行政が行うなど、地域と区の協働で行ってきた。地域センターが無くなると地域と行政のパイプが無くなってしまわないか。</p> | <p>区民と行政が一緒になって地域を作っていくことに変わりはない。地域の情報と行政の情報をつなぐパイプは今後も必要と思う。</p> |
| <p>これまで地域センターは地域の区長室として何でも言ってくださいとしていたのに、今度は区民活動センターとなり区長室の機能はどうなるのか。</p> | <p>1つのしくみが時代の流れに後れないよう再構築していかなければ、当初の目的からずれてしまう。地域自治は大切でありNPOの活動など幅広い参画を考える。施設は拠点として残し、工夫して有効に使っていきたい。窓口機能は証明書の交付をコンビニで扱う等区民の利便性をはかり、事務の効率化をめざしたい。</p> |

〔図書館〕

| 質 問 ・ 意 見 | 回 答 |
|---|--|
| 地域図書館を4館にするとのことだが、学校図書館を活用することで対応するとのことか。 | 地域図書館の再編は考えているが、4館にするとは決めていない。学校図書館との連携により地域図書館を減らすということではない。地域図書館は狭く蔵書数も少ないという状況であり、ゆったりくつろげるような図書館にしていきたい。 |
| 図書館を専門図書館にする聞いている。そうすると、自分の借りたい本が近くの図書館から借りられなくなり、かえて不便になる。 | 区民の必要な図書は確保した上で特色をもった図書館を作るということである。 |
| 図書館は高齢者の利用が多く、遠くなれば行けない。数を残してほしい。 | 今のところ具体的な配置は決まっていない。今は小規模の地域図書館が7館あり、同じ蔵書となっている。内容や役割を見直したほうがよいと考えている。 |
| 図書館は、練馬区や杉並区の方が充実している。(要望) | |

〔保育園・幼稚園〕

| 質 問 ・ 意 見 | 回 答 |
|---|---|
| 幼稚園の再編の具体案はいつ出るのか。小中学校の再編のように、事前に案が示されるのか。 | 中野の幼稚園は私立が中心だったが、子どもの数が増え公立を作ってきたという経緯がある。今は子どもの数が減り私立も減ってきている。幼児教育全般については区が対応すべきものだが、私立でできるものは私立でお願いしたいと考えている。数はまだ決めていないが、案を示して意見を聞くことをしたい。10か年計画については、12月の段階でより具体的なスケジュールを示したい。 |
| 幼稚園と保育園の一元化は、子どもの活動時間が違うので難しいのではないか。これからも幼稚園、保育園、一元施設があり利用者が選べるのか。区立幼稚園の数の見直しは具体化しているのか。安い幼稚園を残してほしい。 | 今のところ幼・保の一元化の具体案はない。幼稚園にも預かり保育があり保育園にも幼児教育があり、あまり差がないかもしれない。同じサービスを同じ負担とするのが一元化の基本的な考え方である。幼稚園は私立が多く、区立に行きたくても行けない人との負担のバランスがとれていない。保護者の負担についても見直したい。 |
| 民営化は悪くないが、公的保育の重要性があり、責任を果たしてほしい。 | 保育行政は公的責任であるが、区が自ら提供するのみではなく、認可保育園のサービスが受けられる環境を作ることもある。数の確保と良いサービスを守り、税金や保育料を確保し、賄っていくのが公的な責任である。 |

〔高齢者会館〕

| 質 問 ・ 意 見 | 回 答 |
|---|---|
| 高齢者がこれから増えていくのに、高齢者会館を再編するというのはどういう意味か。 | より有効に活用していただき、介護予防機能が果たせるようにしたい。現在民間団体が運営している3館は、さまざまな催しが以前より活発になり評判がよいが、運営だけでなく、財政状況も勘案しながら配置の見直しを行い、地域的にも偏りがないようにしていく考えである。 |
| 高齢者会館の機能の見直しと再配置は、具体的にどういうことか。 | 高齢者会館の現在の機能に加え、介護予防の機能を充実させていくことを考えている。それには手狭になるところも出てくるため、施設の場所や数を見直しするということである。再配置を検討するにあたっては、距離等に配慮したい。 |
| 高齢者会館も委託化が進んでいるが、管理・運営する人の善し悪しが心配だ。 | 委託化は進めていくが、団体の選定や運営状況のチェックはしっかりやる。委託前よりよくなったと言われるサービスを提供したい。 |

〔公園〕

| 質 問 ・ 意 見 | 回 答 |
|--|--|
| 公園も廃止すると書いてあるが、中野区は23区中一人あたりの公園面積が最もすくない。具体的にはどこか、どうしていききたいのか。 | 学校の跡地などを活用して広い公園を整備する場合、近くの狭小でありあまり利用されていない公園を廃止していくことも考えている。具体的な内容については、もう少し時間をいただきたい。 |
| 中野区は小さい公園が多い。売却できるものならば小さい公園を売却するということもあるのか。 | 学校の跡地の活用で大きな公園を作るときは、近くの小さな公園を売却するという方法も考えられるかもしれない。 |
| 公園が減らされる感がある。遊具のある公園が少なく、ゴミが散乱している。もっと公園施設を充実して欲しい。 | 公園の再配置計画は、公園の全体面積を増やす方向で考えている。中野区は小さな公園が多く、遊具の配置が難しい状況にある。今後、憩いの場となるような公園のあり方や運営方法を検討していきたい。 |
| 公園の整備・再編というが、小さいがやすらぎを感じる場所もある。これをなくすのは住民との話し合いが必要である。 | 学校や児童館の再編にあわせ再配置を考えており、その付近の狭小な公園を、地域のみなさんと話し合いのうえ、整理していくということ。小さい公園をむやみに廃止するのではない。 |

その他

| 質 問 ・ 意 見 | 回 答 |
|---|---|
| 膨大な計画策定であり、区民参加を意識しているが、区民は素人である。職員が行政のノウハウを伝えるなど訓練しながら進めて欲しい。 | 基本構想や10か年計画作りでは、区民の方からさまざま意見をいただいている。「区の仕事に職員がきちんと責任を持ってくればよい」から一歩進んでの意見をいただきたい。意見交換会に参加できない人からも意見をもらっている。議論の進め方についても意見をいただきたい。 |
| 基本構想を策定していること、意見交換会を実施していることを、多くの区民に宣伝するべきだ。 | 区報やホームページ、地域ニュースなどを通じてお知らせしている。また、希望があれば個別団体との意見交換会も実施している。今後も広報に努めたい。 |
| このように意見交換会を開催するのは画期的で、いろいろな意味ですばらしい。 | このような形で何回も意見交換会を持ったのは始めてだ。区民と協働して一緒に作っているという感じもする。これからもこのような取り組みを行っていきたい。 |
| 基本構想や自治基本条例は、区民から強い要望があったわけではない。意見交換会をやったから区民意見を踏まえた、と考えるので欲しい。 | 区民ワークショップや審議会などで、自治の基本に関することも話し合っていたことを踏まえ、その流れの中で検討を進め、検討素材のNO.2、NO.3で区民意見交換会を開催してきた。今後も区民の意見を聴きながら進めていく。 |
| ゼロベースによる見直し、などいろいろ出ているが、影響が多いので、説明の機会が少ないのではないか。 | NO.4の意見交換・説明も全地域センターで行うし、今後も素案ができれば、再度行いたい。 |
| 今回は資料が早く出されたので、事前によく読むことができた。今後も是非このようにして欲しい。 | できるだけ事前に出していきたい。 |
| 区と区民の意見交換会は対立の場になってしまう傾向がある。区が言うことが「決定」と受け止められてしまうので、はっきり言わないのではないか。 | 区民の意見の中で、反映できるもの、できないものについて、その理由をはっきり説明していかなければならないと考えている。 |
| 地域の中でもこのような意見交換会でも、私がやるとか、こうなったらこうしようという主体的な意見が出ない。建設的な意見交換、取り組みにしていけないといけない。(意見) | |
| 区民意見交換会で出された意見がどのように反映されたのか分からない。これまでの意見がどのように反映されたのかを示して欲しい。 | 検討素材NO.3までは、アンダーラインを引いて変わった点を示したが、それが分かりにくかったのでそのような表記はしていない。次回の素案にした場合に、何らか示していきたい。これまでの意見交換会での意見を踏まえ、区民憲章の中の「自己決定・自己責任」の表現や「区民全体の契約」等の表現を変えてきている。 |

| | |
|--|---|
| <p>自己決定・自己責任など区民に対し要求していることが多いが、職員の中で中野区に住んでいない人が多い。公務員としてどう責任を取ろうとしているのか。</p> | <p>職員が中野区に住んでいないから、区のことを本気に考えていないということはない。</p> |
| <p>高齢者の発想は守りが中心。若い世代に任せると活性化するのではないか。（意見）</p> | |
| <p>信頼性・透明性の高い区政の運営とあるが、これまで民営化する際に、十分な情報がなかった。</p> | <p>これまでもきちんと説明してきたつもりだが、ルールがなかった。今後は自治基本条例を定め、区の情報の共有化等についてもきちんと決めていきたい。</p> |
| <p>中野区の税金や保険料の徴収率は他区と比べてどうか。区民税の未収金はいくらか。</p> | <p>23区で真ん中くらいである。区民税の未収金は、14年度決算で約29億円になっている。</p> |
| <p>現在近隣で高層マンション建設が予定されており、反対運動をしている。10年後の暮らしやすい暮らしより、今できることは今進めて欲しい。</p> | <p>そうした問題があることは承知している。現実問題に対応するとともに、長期的な視点に立ったまちづくりも進めていかなければならない。</p> |
| <p>消費税導入のときに、高齢化対策のためといていたが、実態はそうっていない。</p> | <p>国税に関しては、国の責任でやっている。国に対して必要なものはしっかりと要求していく。</p> |
| <p>大学教授や区立学校の教職員の子どもたちは1学級40人、50人の私学へ通っている。どのくらいいるのか調べて欲しい。</p> | <p>個人情報に関することなのでお調べできない。また、区立か私立かということが問題なのではなく、子どもたちが選択できる教育環境をつくるのが大事であると考えている。</p> |
| <p>鷺宮体育館プールを障害者等が使用する場合は、使用料が免除されているが、今後もそうして欲しい。</p> | <p>体育館については、平成18年度に指定管理者制度への移行することを検討している。適切な運営事業主体を選定したい。使用料は事業主体が収納することになるため、減免制度のあり方についても検討している。基本的には減免措置はなしとするが、障害者等が使用する場合は使用料を免除するという方向で考えている。その方法をどうするか考えたい。ただ、全てを今までどおりというわけにはいかない。意見を伺いながら、詳細について検討していく。</p> |